

広島県中小企業団体中央会 2023年2月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比9.8%増加、前年同月比9.3%増加。売上高は前月比7.0%減少、前年同月比11.7%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。特にたまごの価格高騰の影響が大きい。人材不足、原材料高騰など、厳しい状況がしばらく続く見通し。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

- ・先行きが不透明
- ・在庫負担による資金繰り悪化が懸念される
- ・電力、原材料、消耗品、金利負担などのコストアップを不安視している。

山陽テクノ協同組合

業界の今後の見通しは横ばい。人材不足解消のために、すでに来年を見越して人材確保の準備をされている事業者が多い印象。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和5年1月の全国新設住宅着工戸数は63,604戸で前年同月比+6.6%、季節調整済年率換算値では893千戸(前月比+5.5%)となった。
- ・利用関係別では、持家は16,627戸で前年同月比▲8.3%、貸家は24,041戸で+4.2%、分譲住宅は22,698戸で+25.0%、また木造住宅は32,509戸で対前年同月比▲3.6%であった。
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が14ヵ月連続となり、1月としては1965年の17,614を下回る58年ぶりの低水準となった。一方分譲はマンションが大きく伸び+69.6%2ヵ月連続増加、貸家も23ヵ月連続増加し、全体は4ヵ月ぶりの増加となった。ただ、木造住宅は4月以降10ヵ月連続の減少している。

【広島県】

- ・1月の着工戸数は1,350戸で、対前年同月比▲5.1%、うち持家は306戸で▲19.5%、貸家は602戸で▲5.8%、分譲は442戸で+10.5%であり、県全体の住宅着工戸数は前年同月比が6ヵ月連続の減少となった。
- ・全国は貸家と分譲の増加で全体の増を維持したが、県内は分譲マンションの伸びで増となったものの、全体では減となった。
- ・木材価格は落ち着きがあるものの、その他の資材の高騰は続いていることが、持家の新規受注が進まない要因と思われる。

福山木材協同組合

売上高は前年同月比より減少。依然として厳しい状態が続いている。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

完全にアフターコロナの段階に日本全体が入ったように思う。積極的に打って出る機会を伺いたい。将来を見据え、見極めながらいろんなことに挑戦していきたいと強く自らに言い聞かせている。果敢に挑戦することで、今見えていない景色に手が届くことを願って。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

ウクライナ侵攻をきっかけとしたエネルギー価格上昇と円安が追い打ちをかけて原材料、電力、ガス、運賃が毎月のように上昇している。売価への転嫁が急務であるが苦戦を強いられている。

さらには今年の春闘においては、賃上げがマストになっており、経営状況は一段と厳しさを増している。仕

事量に関しては第4四半期において多少増加してきている。反面労働者不足が深刻化してきており技能実習制度の見直しが急がれる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・諸材料の高騰が事業採算を大きく圧迫しているが価格転嫁は難しい。
- ・自動車関連は回復傾向が見られるが、変動幅が大きく不透明感が強い。
- ・日本のみ円安による輸入原材料の更なる値上げに苛まれている。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
令和5年02月 2, 582 m³ (対前年比97.4%)
令和5年01月 2, 114 m³
令和4年02月 2, 599 m³
- ・令和4年度想定数量
780,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・業界動向は基本高位安定。受注状況は国内海外とも極めて好調で納品が追いつかず注文残が増加している。
- ・エンジン、他ゴム部品の調達問題が拡大。
- ・期末に向け増産をかけるところだが2月度は年初月計画比、昨年同月実績比ともに大きくマイナス。
- ・2月度は前月比、対前年同月比ともに操業度が低下したが、残業をかけるほど高操業状態。
- ・主要取引先の期末追い込みにどこまでついていけるかが課題。
- ・主要取引先の部品調達不安による生産下振れが、今後想定されるリスク。

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

- ・仕入品の価格高騰の売価への転嫁の遅れが業績を圧迫している
- ・賃上げの件で企業規模による格差拡大が益々顕著に表面化し、更に雇用問題が発展しそう。

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比27%増加、前年同月比は▼2%となった。また、日工会が発表する1月工作機械受注実績は前年同月比▼9.7%の1290億8700万円と2か月ぶりの減少となった。1300億円を下回るのは17か月振りである。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

増加していた受注残の消化により、売上は前月比、前年同月比5%増加となった。また、大手取引先等から賃金引き上げを発注単価に反映させるとの通知が出てきており、大企業だけでなく中小企業においても賃金引き上げを実施するケースが見られる。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は全体ではコロナによるロックダウンや半導体の供給問題は改善されつつある。

(2月度 自動車 国内販売動向)

全需は427千台、前年同月比+20.3%と6ヶ月連続で増加。登録車は+26.3%、軽自動車は+11.3%と共に増加。一方、マツダ車は▲6.9%と減少。

(1月度 自動車 海外販売動向)

- ・アメリカの全需は 1,066千台で、前年同月比+6.3%と6ヶ月連続で増加。マツダは+9.0%と、前年同月を3ヶ月連続で上回る結果となった
- ・欧州の全需は 1,051千台で、前年同月比+11.2%と5ヶ月連続で増加。マツダは+20.5%と前年同月を2ヶ月連続で増加
- ・中国の全需は 2,231千台で、前年同月比 ▲11.9%と3ヶ月連続で減少。マツダは同 ▲79.8%と22ヶ月連続で前年割れとなった
- ・マツダの1月の海外販売は、欧米では回復傾向にあるが、中国やタイなどアジアの主要市場で苦戦しており、合計台数は75.1千台、前年同月比▲13.1%と減少

(1月度 自動車 輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+5.9%と回復した。一方で、国内生産台数は、前年同月比▲11.1%と一部の新車種の部品納入に支障があり減産したが、今後は回復基調にある。

八本松工業団地協同組合

自動車メーカーの開発がEV車中心となっており、金型の受注量が激減している。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和5年1月の船舶建造許可実績は4隻、181,700総トンであった。(前月1隻4,530総トン。前年同月4隻176,550総トン)なお、内訳は輸出船が4隻で、貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

- ・前月までと同様、物価高を主因とする最終消費の伸び悩みから、全般的に売上は前年程度と回復に遅れが見られ、コロナ関連融資の返済負担から資金繰り悪化が確認される。
- ・特に営業人員について、従業員の定年退職に伴う補充が困難な状況が続いている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

住宅着工減少が続き、住宅市場の業績悪化に繋がっている。今後も住宅市場は厳しい状況が続きそうである。

●卸売業（昼・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

- ・2月の取り扱いは、毎年減少傾向ですが、本年は特に減少幅が大きい。
- ・びんご特選は、前年対比101.6%とやや微増したものの、JAS表では前年対比96.9%となり
- ・2月までの合計では、前年対比99.4%、前月対比でも71.2%と取り扱い実績は減少。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

物価上昇に伴い値上げを行っているが、全体的に売上が下がっている状況。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・水産物の取扱高は、宿泊業向け販売が外国人観光客の復活もあり好調に推移し、外食向け販売も宴会需要の回復もあり順調、トータルで前年実績を若干上回った
- ・水産物取扱業にとって電気代は冷蔵・冷凍施設維持の為に節約出来ないため、販売価格上昇の要因となっている。更に鮮魚流通に欠かせない氷も値上げ予定が有り、売上回復基調の中でも収益悪化が懸念される
- ・青果の取扱額が前年より増えたが、消費者の節約志向から客単価は伸びておらず、コロナ前の水準に戻っていない
- ・生鮮小売業取扱高は、商品全般の値上げ効果から売上回復傾向が続き、コロナ以前の水準まで回復した業者も出ている。ただ諸経費の高騰などの負担が加わり、利益額の回復が進んでいない

協同組合三次ショッピングセンター

これまであまり影響のなかった仕入価格が徐々に上がり、4月からさらに多品目の値上げが決まっており販売価格に転嫁予定である。2月はペイペイの地域キャンペーンによりキャッシュレス決済が増えたが売上への影響はあまりなかった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和5年2月度販売実績100%（前年同月比）。AV商品99%、白物商品101%、薄型テレビ93%（内有機EL101%）、DVD80%、冷蔵庫106%、洗濯機102%、IHクッキングヒーター109%、エコキュート125%、エアコン99%、炊飯器114%、電子レンジ102%、掃除機156%
電気代の値上がりで、省エネ家電の需要が高まると期待されるが、物価高の影響により不透明である。

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

平成7年に完成したアーケードについて、経年劣化より天井部分の装備品の不良化が散見されることから、

歩行者の安全確保のため3月中を目処に業者による総点検を実施する。高所作業車による作業を伴うため、国土交通省の道路占有許可が必要となることから、申請作業も複雑で許可に時間がかかる可能性がある。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+47.9%、前年同月比+0.1%
- ・車検場収入は、前月比+44.7%、前年同月比+0.1%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+18.4%、前年同月比+9.3%

広島県警備業協同組合

長期的な人手不足に悩まされている

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

現場は稼働しており、年度末に向けて稼働に期待したいところだが、資材高騰により販売不振が見込まれる。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

- ・電子部品の入手難はかなり解消
- ・3月末の駆け込み需要は例年より少ない

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、2月度は前月比+54.9%、前年同月比▲1.4%、前年累計各対比+2.5%となった。コロナ禍で保留、延期になっていた物件も、本格的に動かした感があり、3年前のレベルまで持ち直す期待感は大い。

福山地区電気工事業協同組合

2月受付件数は前年度と比較して増加となったが、累計は前年比9割程度。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・2月の売上高は前月比では増加、前年同月比は減少。
- ・トラック業界は2024年問題、人手不足、燃料価格高騰で苦戦しているのが実情である。
- ・軽油価格は、中東原油調整金の値下がりにより小幅な値下げとなった。
- ・自動車関連は半導体の調達不足により、低調であったが、土木や食品関連は好調であった。

松永地区トラック事業協同組合

- ・2月の売上高は、対前年同月比では増加、対前月比では変化はなかった。
- ・貨物量は荷主である製造業や機械金属メーカー等の売上推移等、季節的要因で増減するため運送業界ではコントロールが難しい。
- ・食品等の値上がり要因に原材料費、運賃値上がりといわれるが、トラック運賃は上がっていない。
- ・世の中で値上がりしていないのはトラック運賃だけと言っても過言ではない。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

大手運送会社との長期取引の終了があった一方で、別案件からの受注が伸びたものの、結果として売上は減少傾向にある

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比、前年同月比ともに当月は市町の固定資産評価業務作業の関係で、一般評価業務を控えた分売上高は減少、悪化した。
- ・3月末まで市町の3年毎の固定資産税標準宅地評価業務があり、一般評価作業と合わせて忙しい。